

## 平成21年度事業評価書（事後）要旨

評価実施時期：平成21年8月

担当部局名：医政局看護課

事業名	潜在助産師復職研修事業（産科診療所における助産師確保のためのモデル事業）
政策体系上の位置付け	<p>基本目標Ⅰ 安心・信頼してかかる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること</p> <p>施策目標Ⅱ 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること</p> <p>施策目標Ⅱ－Ⅰ 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること</p>
事業の概要	<p>助産師の産科診療所への就業を促すための啓発普及事業を実施するとともに、潜在助産師等を対象に産科の専門的病院で最新の助産に関する知識や技術等に係る臨床実務研修等を行い、臨床実践能力の高い助産師を育成し、産科診療所への助産師の就業の促進を図る。</p>
施策に関する 評価結果の概 要と達成すべき 目標等	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(1) 有効性の評価</p> <div data-bbox="371 1108 1388 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>有効性の評価</b></p> <p>平成18年度から平成20年度までの実務研修受講者のうち、約39.0%の潜在助産師が産科診療所等への就業につながり、その他の者についても、技術のレベルアップ等が図られたことで就労意欲が向上したとの事業報告があり、モデル事業として一定の成果があったものと考えられる。</p> </div> <p>(2) 効率性の評価</p> <div data-bbox="387 1485 1404 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>効率性の評価</b></p> <p>必要な養成機関を経て養成するよりも、すでに免許を有しているが就業していない助産師に対して復職研修及び再就業支援を行うことは、助産師の育成・強化に向けて効率的な取組であると評価できる。</p> </div> <p>(政策等への反映の方向性)</p> <p>評価結果を踏まえ、平成22年度予算概算要求において、所要の予算を要求する。          (概算要求額:3百万円)</p>

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

アウトカム指標 (達成水準/達成時期) ※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)					
	H16	H17	H18	H19	H20
1 就業助産師数 (前年度以上/毎年度)	26,040	27,047 【103.9%】	27,352 【105.0%】	27,927 【107.2%】	集計中
(調査名・資料出所、備考) ・指標1については、医政局看護課調べによる。平成20年度の数値については、現在集計中であり、平成22年2月頃に公表予定である。					
アウトプット指標 (達成水準/達成時期) ※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)					
	H16	H17	H18	H19	H20
1 事業の実施都道府県数 (前年度以上/毎年度)	-	-	2	6 【300%】	5 【83%】
(調査名・資料出所、備考) ・指標1は、医政局看護課調べによる。					

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)
	安心と希望の医療確保ビジョン	平成20年6月18日	「助産業務に従事する助産師の数を増やすとともに、資質向上策の充実を図る。」